

# PHP 03



G's ACADEMY  
FUKUOKA



# 本日の内容

講義 + 作業 : 2.5 h程度  
演習 : 1.5 h程度

# アジェンダ

■DB接続の関数化

■PHPからDB操作

- ・ 更新
- ・ 削除

■課題発表→チュータリング(演習)タイム

# 授業のルール

- 授業中は常にエディタを起動！
- 隣の人と相談するときは周りの迷惑にならない大きさで.
- 周りで困ってそうな人がいたらおしえてあげましょう！
- まずは**打ち間違い**を疑おう！

{ } ' " ; など

- 書いたら保存しよう！

command + s

ctrl + s

# 準備

- MAMPの起動確認
- <http://localhost/>のアクセス確認
- サンプルフォルダを「htdocs」フォルダに入れる

# webの仕組み（復習）

# URL

## ■URLとは

- ・ web上にある情報の場所を指し示す住所のようなもの.
- ・ Uniform Resource Locatorの略.

## ■例

サーバ名

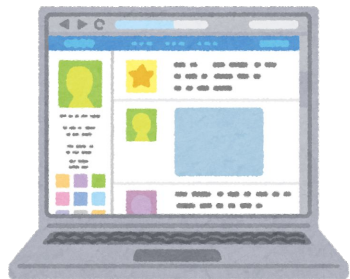
ファイル名

<http://www.〇〇〇〇.jp/△△△△/index.html>

ディレクトリ名

# サーバサイド言語の仕組み

※ 言語によらず、ファイル（プログラム）はサーバ上に存在



送られてきたhtmlを実行

- ・ こういう情報がほしい
- ・ こういう処理をしたい
- ・ 例：index.phpにアクセス

http通信

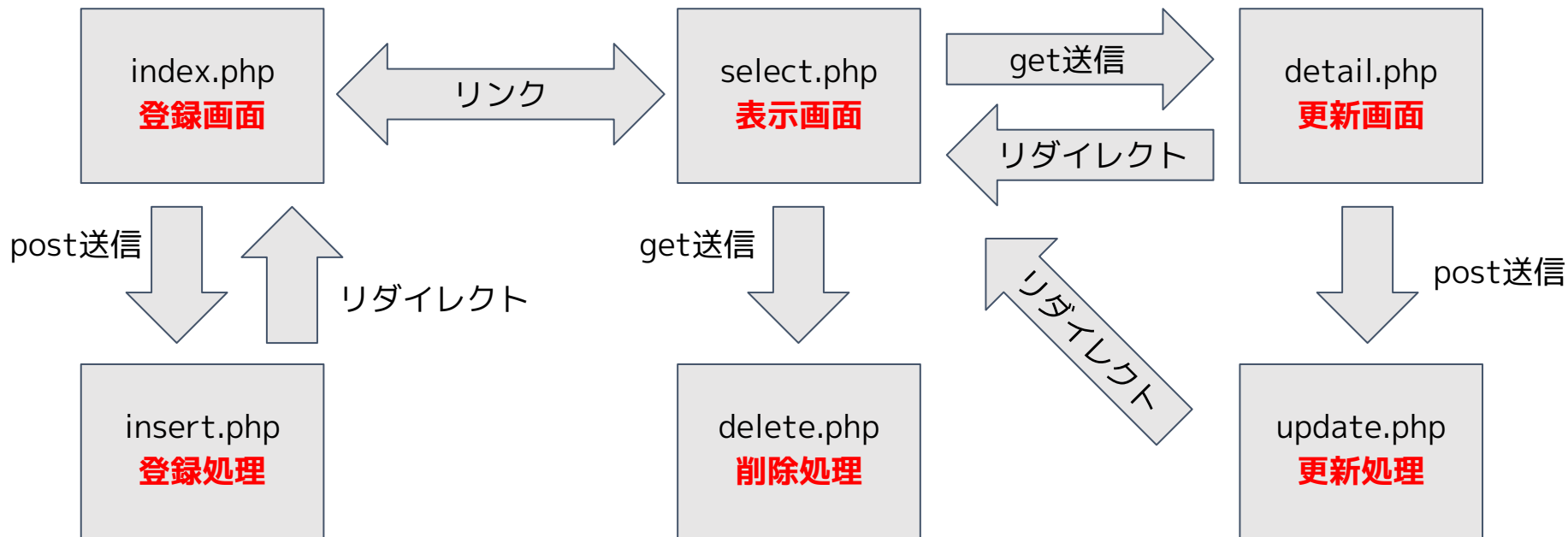
http通信

- ・ 処理した結果のデータ
- ・ 構成したhtml





# タスク管理アプリの全体像



# データの更新の前に

# DB接続は常に同じコード．．．！！

## ■実は

- ・ insert.phpとselect.phpで記述したDB接続のコードは全く同じ！
- ・ 今回作成するdetail.php, update.php, delete.phpも同じ記述！

## ■であれば．．．

- ・ 一つの関数にまとめられる！
- ・ 関数用のファイルを作成しよう！（functions.php）

# DB接続の関数を定義する！

functions.php

## ■関数の定義

```
function db_conn(){  
    $dbn='mysql:dbname=gs_f02_db**;charset=utf8;port=3306;host=localhost';  
    $user = 'root';  
    $pwd = 'root';  
    try {  
        return new PDO($dbn, $user, $pwd);  
    } catch (PDOException $e) {  
        exit('dbError:'.$e->getMessage());  
    }  
}
```

# DB接続の関数を定義する！

insert.php

■呼び出し（insert.php, select.php, など）

```
include('functions.php');    //←関数を記述したファイルの読み込み  
$pdo = dbconn();           //←関数実行
```

# データの更新

# 更新処理

## ■更新処理の流れ（登録処理と似ています！）

- ① 一覧画面に更新ページへのリンクを作成
  - ・ urlにidを追加：detail.php?id=\*\*
- ② 更新ページの作成（detail.php）
- ③ 更新処理の作成（update.php）
- ④ 一覧画面に戻る

detail.php

todo一覧    データ登録    データ一覧

---

2019-01-30-php課題

[Edit](#) [Delete](#)

←リンク

todo更新    データ登録    データ一覧

---

Task

php課題

---

Deadline

2019/01/30

---

Comment

難しそう. . . !!

[Submit](#)

更新ページ

todo一覧    データ登録    データ一覧

---

2019-02-02-sql課題

[Edit](#) [Delete](#)

← 更新 !

## ①一覧画面に更新ページへのリンクを追加

select.php

### ■出力部分を下記に変更

```
$view .= '<li class="list-group-item">';
```

```
$view .= '<p>'.$result['deadline'].'-'.$result['task'].'</p>';
```

```
$view .= '<a href="detail.php?id='.$result[id].'" class="badge badge-primary">Edit</a>';
```

```
$view .= '<a href="delete.php?id='.$result[id].'" class="badge  
badge-danger">Delete</a>';
```

```
$view .= '</li>';
```

### ※赤字部分を追加

1つのデータを指定するためにidを取得  
→埋め込み



# 動作確認（一覧画面）

select.php

todo一覧    データ登録    データ一覧

2019-02-02-sql課題

[Edit](#) [Delete](#)

2019-02-01-js課題

[Edit](#) [Delete](#)

2019-02-02-python

[Edit](#) [Delete](#)

editにカーソルを載せて「?id=\*\*」になればOK！

2019-02-02-python

[Edit](#) [Delete](#)

localhost/php03\_sample\_comp/detail.php?id=4

## ②更新ページを作成

detail.php

- 送信されたidをgetで受け取る

```
$id = $_GET['id'];
```

- id名でテーブルから検索

```
$stmt = $pdo->prepare('SELECT * FROM php02_table WHERE  
id=:id');
```

- 取得結果をinputやtextareaに埋め込む

```
<?=$rs['task']?>
```

```
<?=$rs['deadline']?>
```

```
<?=$rs['comment']?>
```

## ②更新ページを作成

detail.php

### ■idを見えないように送る

- ・ input type="hidden"を使用する！

### ■form内に以下を追加

```
<input type="hidden" name="id" value="<?=$rs['id']?>">
```

※更新のformは、登録と同じくpostで各値を送信しています！

# 動作確認（更新画面）

detail.php

todo更新 データ登録 データ一覧

Task

sql課題

読み込み時に、登録した値が入っていればOK！

Deadline

2019/02/02



Comment

難しそう. . . !!

Submit

## ③更新処理を作成 ④リダイレクト

update.php

- 各値をpostで受け取る

```
$id = $_POST['id'];
```

etc...

- idを指定して更新するSQLを作成

```
'UPDATE php02_table SET task=:a1, deadline=:a2, comment=:a3 WHERE id=:id'
```

- 一覧画面にリダイレクト

```
header('Location: select.php');
```

## 【おさらい】 SQL構文：UPDATE (データ更新)

### ■UPDATE文の基本構造

**UPDATE テーブル名 SET** 変更データ **WHERE** 選択データ;

### ■例

UPDATE php02\_table SET name='gs99' **WHERE id = 1;**

**※必ずWHEREを使用！！→忘れると全てのデータが更新されます．．！**

# データの削除

# 削除処理

## ■ 削除処理の流れ

**済** ① 一覧画面に削除ページへのリンクを作成

・ urlにidを追加delete.php?id=\*\*

② 削除処理の作成 (delete.php)

③ 一覧画面に戻る

detail.php





## ②削除処理を作成 ③リダイレクト

delete.php

- idをgetで受け取る

```
$id = $_GET['id'];
```

- idを指定して更新するSQLを作成

```
'DELETE FROM php02_table WHERE id=:id'
```

- 一覧画面にリダイレクト

```
header('Location: select.php');
```

## 【おさらい】 SQL構文：DELETE (データ削除)

### ■DELETE文の基本構造

**DELETE FROM テーブル名;**

### ■例

DELETE FROM php02\_table;

--全消去

DELETE FROM php02\_table **WHERE id = 2;**

--指定データのみ

※DELETEすると復旧できないので注意！！

# 動作確認（削除）

select.php

todo一覧   データ登録   データ一覧

2019-02-02-sql課題

Edit Delete

2019-02-01-js課題

Edit Delete

2019-02-02-python

Edit Delete

deleteをクリックしてデータが消えればOK！

# 課題

## 【課題①】DB練習（前回のアプリに以下の機能を追加しよう）

### ■下記ファイル（処理）を作成

- ・ **select.php**      **（表示処理） ← リンク処理を作成**
- ・ **detail.php**      **（更新画面）**
- ・ **update.php**      **（更新処理）**
- ・ **delete.php**      **（削除処理）**

### ■PHPは反復練習で慣れよう！

- ・ 処理の流れは毎回同じ！
- ・ カラム名が異なるだけ！ 授業と同じ流れでできる！！

## 【課題②】 ユーザ管理機能の作成

### ■ ユーザ管理テーブル（←必ず作成，DBはこれまでのものを使用）

- ・ テーブル名： user\_table

### ■ カラム名

- ・ id (int 12 , PRIMARY, AutoIncrement)
- ・ name (varChar 64) ← ユーザ名
- ・ lid (varChar 128) ← ログインID
- ・ lpw (varChar 64) ← パスワード
- ・ kanri\_flg (int 1) ← 一般：0, 管理者：1
- ・ life\_flg (int 1) ← アクティブ：0, 非アクティブ：1

## 【課題②】 ユーザ管理機能の作成

■ 下記ファイル（処理）を作成

- ・ user\_index.php      （登録処理）
- ・ user\_select.php    （表示処理）
- ・ user\_detail.php    （更新画面）
- ・ user\_update.php    （更新処理）
- ・ user\_delete.php    （削除処理）

■ ブックマーク機能とユーザ管理機能はそれぞれ独立でOK！

**提出は次週木曜日「23:59:59」まで！！**



# チュータリングタイム

17:00までは一人でもくもく  
後半は近くのメンバーで教え合おう！

githubタイム！！